

長畝ふるさと通信

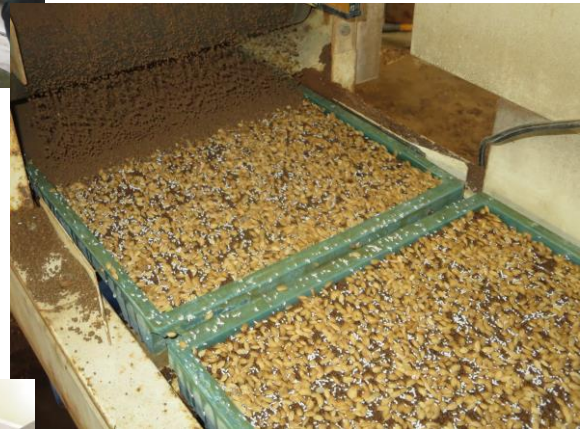
【2014年4号】

■ 種まきの季節



4月4日、今年も種まきが始まりました。今年度は新たに「酒米・五百万石」を栽培することになりました。育苗数はコシヒカリ9,200箱、こしいぶき5,500箱、こがねもち520箱、五百万石2,100箱、合計約17,400箱となりました。1回で約4,500箱播種出来るので、今年は都合4回播種作業をしました。

播種機に苗箱を流し込むとベルトコンベアーで前へと進み、床土・水・種籾・覆土の順に均一に入っていきます。播種を終えた苗箱の重量は約5kg程で結構重いです。これを1枚のパレットに120箱積み重ね、育苗機へと運び込みます。



育苗機は密室で30度の蒸気を出し、3日経つと苗箱から真っ白い芽が顔を出してきます。佐渡では4月8日早朝に地震があり、その影響でご覧の通り、積み重ねていた苗箱が傾いてしまいましたが、芽が伸びて苗箱に突き刺さっていたおかげで何とか持ち堪えてくれました。恐るべし芽の集団力！

芽の出た苗はビニールハウスに運ばれ、被覆シートでさらに3日寝かせると、目にも鮮やかなグリーンの苗ができあがります。この状態から毎日水を与え、温度管理をして約3週間で田植えが出来る苗へと成長していきます。



■ 4月15日 祭りにて・・・

4月15日は長畝集落の祭りです。組合の仕事も今日ばかりは休業。春作業の束の間の休息です(でも苗の管理だけは休むことが出来ないので・・・)。早朝5時、太鼓の音が鳴り始めると、お



宮の氏子総代の皆さんがのぼりを上げて、祭りの始まり、始まり。境内では長畝青年会のお兄ちゃんたちが鬼太鼓を奉納します。



白と黒の2匹の鬼は約一ヶ月間みっちり練習して祭りの本番を迎えました。朝のきりりとした澄んだ空気の中、緊張感が走ります。お宮での奉納の舞は

2時間ほど、徐々に御神酒もまわりだし、景気が良くなった頃集落を門付けに回ります。1日中集落を門付けしてまたお宮に帰ってくると夜中の10時。それからまた2時間、奉納の舞をして日付が変わる頃、クタクタになって1日が終わります。ボクはというと1日中、あちらこちらのお宅に上がり込んで酒を飲み、酔っては大の字になって道で寝て、また起きては酒を飲み、気づけば家のコタツで目が覚めると行った始末。いくつになっても直らない病気です・・・。

■ トキのヒナも続々誕生



4月27日現在で6羽のヒナが誕生しています。田んぼ仕事の合間や朝晩の田廻りでも普通にトキを見かけるようになりました。トキの野生復帰は着実に実を結んでいます。これからもトキが安心して暮らせるふるさと作りに頑張りますので、みなさんも応援して下さい。

5月は田植え、頑張ります！